

厚生労働省が、2002年の日本人の出生数は77万7千人と発表しました。過去最少です。一人の女性が生涯に産む子どもの推計人数である合計特殊出生率は1・26で、5年と並び過去最低でした。日本が「子どもを産み育てづらさない国」から脱却できない現実を改めて浮き彫りにしています。若い世代に希望を届け、本気で支援する政治への転換が必要です。

## 主張

### 過去最低の出生率

政策は15年に「希望出生率1・8」を目指しましたが、スローガンばかりで、子育て支援の実効性は伴いませんでした。政府の国際的な調査(20年)で、日本は子どもを産み育てやすい国とは「思わない」と回答が60・1%と上りました。スウェーデンは「1・8」を目標に「希望出生率1・8」を目標に掲げましたが、しかし、岸田文雄政権の「少子化政策」は学費引き下げに全く触れず、国際的な切実な声にこたえていません。1月表示した「1・8」も未だ戦略方針案に教育費負担緩和策として盛り込んだ「授業料後60・1%と上りました。スウェー

教育費の負担軽減を本格的に図ることなどにより急がれます。

しかし、岸田文雄政権の「少子化政策」は学費引き下げに全く触れず、国際的な切実な声にこたえていません。1月表示した「1・8」も未だ戦略方針案に教育費負担緩和策として盛り込んだ「授業料後60・1%と上りました。スウェー

教育費の負担軽減を本格的に図ることなどにより急がれます。

個人の権利保障を土台に

希望持てる子育て安心社会を

・子育ての重大な障

・子育ての重大な障

・子育ての重大な障

・子育ての重大な障

・子育ての重大な障